



## アジア・オルタナティブ アジアの PE 投資特化ファンド、1,200 億円でクローズ

**【2012年8月8日 東京、香港、北京、上海、サンフランシスコ】** アジアに特化した独立系プライベート・エクイティ(PE)のファンド・オブ・ファンズ(FoF)として最大級の規模を誇るアジア・オルタナティブは、3号ファンド Asia Alternatives Capital Partners III, LP(AACP III)を含む総額 15 億ドル(約 1,200 億円)超のファンド設定を完了しましたのでお知らせいたします。

AACP III については当初予定の 8 億ドルを上回る 9.08 億ドル、その他のファンドにも約 6 億ドルの投資がありました。なお、1号ファンドは 2007年5月、2号ファンドは 2008年9月に設定されました。

アジア・オルタナティブのファンドは、アジアに投資する好成績の PE ファンドを中心に分散ポートフォリオを構築しています。投資先は中国、香港、台湾、日本、韓国、東南アジア諸国、インド、豪州、また、バイアウト、グロース・キャピタル、ベンチャー・キャピタル、スペシャル・シチュエーション等の各種ファンドに投資してきております。これまでに 36 社の PE マネージャーが運営する投資ファンドを組み入れています。

アジア・オルタナティブ共同創業者兼マネージング・ディレクターのメリッサ・マーは次のようにコメントしています。「今回も数多くの投資家が 5 年前の 1号ファンド、続く 2号ファンドから継続して 3号ファンドにも投資いただいたことを誇りに思います。金融危機に加えて市場が不透明さを増しており、投資家にとっては資金の振り向け先の選択が益々難しくなる状況にあります。アジア・オルタナティブを評価いただいた上で今回の投資を決めていただいたことを喜ばしく思います」。

3号ファンドに投資いただいた約 75%の投資家が 1号および 2号ファンドの投資家でした。州政府や企業の年金基金、財団、大学基金、保険会社など米国、カナダ、欧州、アジアの多くの機関投資家や個人投資家から資金を拠出いただきました。キャセイ生命保険会社、チャーチ年金、コンプリヘンシブ・フィナンシャル・マネジメント、マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニー、ニューメキシコ州立投資カウンシル、ニューヨーク州職員退職年金基金、オークヒル投資顧問の関連会社 OHIM アジア・インベスターズ LP、ペンシルバニア州職員退職年金基金などに投資いただきました。

また、1,500 億ドルの基金を運用するニューヨーク州職員退職年金基金の単独信託理事であり、ニューヨーク州会計監査官を務めるトーマス・P・ディナポリ氏は、「アジア向けの投資を増やすことは、当社の分散投資における重要な戦略となっております。アジア・オルタナティブはダイナミックに変化を続けるアジア市場の PE 事情に精通しており、貴重な投資情報を提供してくれます」、と語っています。

1号ファンド、2号ファンドから継続して投資いただいたバブソン・キャピタル・マネジメント LLC マネージング・ディレクターのマイケル・ハームセン氏は、「アジア・オルタナティブとのパートナーシップを継続できることを嬉しく思います。アジアの PE 投資において他社と違ったユニークなソリューション・プロバイダーである彼らからは、今後も魅力的な投資機会を提供いただけると信じています」、とコメントしています。



同じく3号ファンドのLPであるオークヒル投資顧問のマネージング・パートナーであるジョージ・フィップスは、「アジア・オルタナティブの1号ファンドから投資しています。彼らには、アジアでのレピュテーション、魅力的な投資先を見抜く力、投資先へのアクセスが備わっています。アジアで投資を行うには、適切な投資機会を見極めることのできるパートナーが必要です。アジア・オルタナティブはアジアのPE投資において最も重要なパートナーです」と述べています。

アジア・オルタナティブはアジアのPEファンドに特化した独立系FoFの先駆者です。また、中国においては有限責任組合員として初めてのQFLP(適格海外投資事業有限責任組合員)資格を取得しており、人民元建てのPEファンドに投資することが認められています。

日本においては、アドバンテッジパートナーズ、J-STAR、ネクスト・キャピタル・パートナーズ、ユニゾン・キャピタルなどのファンドに投資しています。

日本向け投資の責任者のマネージング・ディレクター安田彰彦は次のようにコメントしています。「高いリスク調整済みリターンとポートフォリオの分散を実現するためには、アジアにおけるPE投資は重要なソリューションの一つとなります。アジア・オルタナティブは、アジアに拠点を構えてローカルな情報と知見を備え、世界の多くの投資家にアジアにおける真に魅力的な投資機会を提供してまいります。

今回のファンド組成の独占プレースメント・エージェントは イートン・パートナーズ LLC(Eaton Partners, LLC)、法務アドバイザーは、ピルスベリー・ウィンスロップ・ショウ・ピットマン LLP(Pillsbury Winthrop Shaw Pittman LLP)でした。

###

### 本件に関するお問合せ

投資家: アジア・オルタナティブ 安田彰彦 [ayasuda@asiaalt.com](mailto:ayasuda@asiaalt.com)

報道関係者: クレアブ・ギャビン・アンダーソン 電話 03-5404-0640 (服部、渡辺)

### アジア・オルタナティブ・マネジメントLLCについて

アジア・オルタナティブはアジアのプライベート・エクイティ(PE)投資に特化した機関投資家のためのソリューション・プラットフォームです。現在、1号ファンド(5.15億ドル)、2号ファンド(9.5億ドル)、3号ファンド(9.08億ドル)等を運用しています。いずれもアジアに特化したPEのファンド・オブ・ファンズ(FoF)で、投資一任運用資産は30億ドルを超えています。中国、香港、台湾、日本、韓国、東南アジア諸国、インド、豪州を含むアジアを対象とする運用成績の優れたPEファンドに投資しており、パイアウト、グロース・キャピタル、ベンチャー・キャピタル、スペシャル・シチュエーション等の各種ファンドでポートフォリオを構成しています。投資スタッフは現在29名。香港、北京、サン・フランシスコに事務所を構えています。詳細情報は[www.asiaalternatives.com](http://www.asiaalternatives.com)をご覧ください。

\* 本リリースは、助言サービス、あるいは有価証券やいかなる投資の勧誘を意図するものではありません。